

204人のみんな卒業・修了おめでとう！



▲別れの歌を歌う卒業生たち



▲島校長から卒業証書を受け取る卒業生

卒業生78人

3/13 飯館中学校 「卒業証書授与式」



▲荒川園長から修了証書を受け取る修了児



▲在園児や先生に見送られて退場する修了児

修了児・草野幼稚園30人、飯
樋幼稚園19人

3/16 草野幼稚園・飯樋 幼稚園「修了式」



▲荒川校長から卒業証書を受け取る卒業生



▲別れの歌を歌う卒業生たち

13人

3/23 草野小学校・飯樋小 学校・白石小学校 「卒業証書授与式」

卒業生・草野小学校34人、飯
樋小学校30人、白石小学校

村内の小・中学校で卒業証書授与式が、幼稚園で修了式が開催され、卒業生・修了児たちが希望と願いを抱き、思い出の学舎を巣立っていきました。

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



太陽の熱で卵が焼けたよ

3/10

子ども新エネルギー学習会



▲ソーラークッカーを作る子どもたち

公民館で「子ども新エネルギー学習会」が開かれ、草野小学校の子どもたち23人と保護者5人の計28人が参加し、環境に優しい新エネルギーについて学びました。

この学習会は、17年度に策定した「飯館村地域新エネルギービジョン」の事業計画に基づき村が主催したもので、昨年、村が草野小へ太陽光とマイクロ風車のハイブリッド型電灯を設置したことから、今回は同校の子どもを対象に開催しました。



▲草野小に設置したハイブリッド型電灯を見学する子どもたち

参加した子どもたちは「太陽や風など、自然の力はすごいと思った」、「新エネルギーを詳しく知ることができて良かった」などと感想を話していました。

リストの小澤祥司さんが講師を務め、はじめに太陽光や風力、バイオマスなど環境に優しいエネルギーについてスライドを使い分かりやすく紹介した後、子どもたちが太陽の熱を利用して卵を焼いたり調理ができるソーラークッカーや、風力発電のプロペラに似たブーメランを作りました。

このほか、草野小学校へ移動してハイブリッド型電灯を見学したり、グループに分かれて新エネルギーの活用を話し合うなど、この日は工作体験や見学、ワークショップなどを通して自然エネルギーを楽しく学びました。

3/5 火の用心 ゲートボール大会



▲熱戦を繰り広げる選手たち

消防飯館分署（本間英世分署長）では、「春の火災予防運動」の行事として、「火の用心ゲートボール大会」を草野の「ふれあい交流館たてやま」で開催しました。

この大会は、高齢者家庭からの出火防止を目的に、飯館分署が村ゲートボール協会（大東正男会長）の協力を得て毎年開催しています。

今年は、村内9チーム（70人）が参加し、熱戦を繰り広げました。

また、大会では消火器を使った初期消火訓練を実施したほか、平成23年5月末までに設置が義務付けられている住宅用火災警報器について、署員が参加者に説明しました。

大会結果
優勝 二枚橋・須堂チーム、準優勝 佐須チーム、第3位 宮内チーム

「今回の料金改定は…見送ります」

3/7 村水道事業・村農業集落排水事業運営審議会から 村に答申



▲村長へ答申する庄司会長

村が、昨年10月に村水道事業運営審議会・村農業集落排水事業運営審議会（庄司和明会長）へ諮問していた、水道料金と農業集落排水処理施設使用料金の見直しについて、同審議会から答申が出されました。

答申結果

どちらの料金も今回の改定は見送る。水道料金は、16年度に改定したことにより、年間の経常経費が賄えることなどから、今回は改定せず3年後に再度見直しをすること。

また、農業集落排水処理施設使用料金は、まず飯館地区の接続促進が前提であり、今回は改定しない。

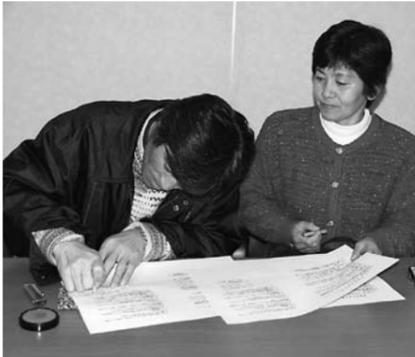
同審議会では、村からの諮問後4回の会議を開催し、各料金・使用料金の見直しや経営内容について検討してきました。

いっしょに輝く農家経営を目指して

2/27 5組の家族が「家族経営協定」を締結

農業を魅力ある職業とし、経営を発展させていくためには、慣習的な経営から抜け出し、家族が共通の目標を持ち、それぞれが主体的な経営に取り組むことが大切です。

このたび村内の農家5組（新規4組、変更1組）の家族が、村農業委員会（北原経会長）立会いのもと、役場会議室で、それぞれ「家族経営協定」を結びました。



▲協定書に押印して協定を結ぶ家族

農作業や暮らしの役割分担、労働条件、経営計画などの取り決めをすることです。この協定によって、

家族それぞれの役割や働く条件が明確になり、農業経営の向上につながります。

平成15年6月からは、家族経営協定を結ぶ一定の要件の下に、女性や後継者も経営主と共同で農業経営改善計画の申請・認定が受けられるようになりました。

これからの農家生活において、「家族経営協定」や「女性認定農業者」は、農業に対する夢を実現するために必要なことです。家族で、地域で話し合い、みんながいさいさと輝く農家生活の実現を目指しましょう。



▲今回協定を結んだ5組の家族

3/8 「記念セミナー」が商工会館で開かれ、部員や村民など25人が聴講に訪れました。

セミナーでは、講師の(株)One on One（南相馬市）代表の佐藤倫子さんが「春が来た！色は毎日の暮らしを彩る。あなたを変える色のパワー」と題し、「オレンジ・黄色は食欲増進」、「紫色は落ち着くため寝室向き」、「赤はパワーが出る」、「緊張している時はブルーが良い」など、生活環境やその時の精神状態に合わせた色を与えること



▲セミナーのようす

で、自分や周りの気分・雰囲気が変わることなどを紹介しました。

記念セミナーと記念植樹 商工会女性部設立30周年記念事業



▲木に土をかける菅野村長(左)と高橋部長(右)

3/22 「あいの沢」で記念植樹が行われ、部員らがエゾヤマザクラ2本を園内のイベント広場に植えました。

記念植樹では、はじめに高橋

けい子部長が「この木がたくさんの花を咲かせることを祈っています。この木に負けないよう私たちも生涯の花を咲かせられるよう精進していきたい」とあいさつした後、来賓の菅野村長が「この木を大切に景観づくりや公園づくりを進め、この木の下で多くの愛が芽生え、愛が進むような事業を組み立てていきたい」と祝辞を述べました。

その後、部員が見守る中、高橋部長と菅野村長がエゾヤマザクラを植樹して、女性部の設立30周年を祝い、今後の発展を誓い合いました。

誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
庄司大夢くん	裕憲・麻希	伊丹 沢
渡邊瑛元くん	和則・志津子	関 沢
富山眞侍くん	正弘・薫	草 野

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
富山 正弘	草野 野
植杉 薫	草野 野
細川 勉	伊丹 沢
菅野 尚美	関 沢

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 サタ	87	佐須 須
中島 テル	87	比曾 曾
渡邊 汝	90	伊丹沢(小宮)
佐藤 賢子	73	上飯 樋
江藤 幸由	59	小宮 宮
阿部 八郎	83	佐須 須
小野 とよせ	87	小宮 宮

ご冥福をお祈り申し上げます

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成19年3月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	3265人 (-1人)	3323人
女	3278人 (-11人)	3352人
計	6543人 (-12人)	6675人
世帯数	1740戸 (-7戸)	1736戸

◆◆2月1日～28日までの人口動態◆◆
 転入 12人 転出 23人
 出生 5人 死亡 6人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)

「早ね・早おき・朝ごはん」宣言

人間にとって毎日の「習慣づけ」はとても大切なことです。

また一方で、食物の勉強、いわゆる「食育」が大事とも言われる時代になってきました。

つまり、私たちの近頃の食べ物は、昔とは随分違ってきていて、決して「体に良い」ということばかりではなくなくなってきているということです。

特に子どもの場合、朝ごはんを食べないで学校へ来て勉強に身が入らなったり、怒りやすくキレやすい原因にもなっているという話も聞かれています。

飯館村でも、小・中学生の「朝ごはん」を調査したことがあります。「食べないで学校へ」は小・中学校とも1〜2人でしたが、「時々食べないで来る」と答えた子どもが6〜7人いたそうです。

そこで、村では今回「早ね・早おき・朝ごはん運動を進める村」を、3月議会で議員全員の賛成を得て「宣言」しました。

これは県下でも初めてのことであり、全国的にもまだ3例ぐらいしかないとのこと。

この「宣言」の本当の目的は、私たちの毎日の食事の大切さをもう一度認識して健康づくりを進めようということ、親の子どもへの向き合い方をもう一度見直してみる機会になればとの思いからの「宣言」であります。

この宣言の目玉事業の一つとして、「弁当の日」があります。小学生の高学年は、1学期に1回、自分で台所に立ち、家族に手伝わってもらいながらも自分で弁当を作って持って来るといふものです。

子どもの頃から台所に立ち、料理の仕方を覚え、親子のふれあい、親へのありがたみを感じ、食べ物への感謝の気持ちを持つてもらえればとの願いがあります。

大変ですが、どうぞ絶大なご協力を。

平成19年3月29日
 飯館村長 菅野 典雄